

# 最先端・次世代研究開発支援プログラムの概要



内閣府

## 背景

政権交代を契機として、平成21年度第1次補正予算における最先端研究開発支援プログラムの全体を見直し、1000億円を平成21年9月4日に決定した30の研究課題に配分するとともに、500億円を若手研究者等のための新たな支援策に充てるとの方針を第86回総合科学技術会議(平成21年12月3日)において決定。

## 1. 目的

- ①将来、世界の科学・技術をリードすることが期待される若手・女性・地域の研究者への研究支援
- ②「新成長戦略(基本方針)」※に掲げられたグリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションの推進

※平成21年12月30日 閣議決定



## 2. プログラムの内容

- ①自己の責任において主体的に研究開発を進めることが可能な若手研究者又は女性研究者を対象。研究内容の地域性も考慮。
- ②グリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションを対象主題とし、人文・社会科学的側面からの取組を含め、挑戦的な研究課題を幅広く対象。

### 科学・技術によるグリーン・イノベーションの推進

環境・資源・エネルギー・食料分野にこだわることなく、基礎研究から出口を見据えた研究開発まで、地球温暖化を克服し、持続的な発展が可能な社会の実現を目的とした挑戦的な研究開発を幅広く推進。

### 科学・技術によるライフ・イノベーションの推進

生命機能や疾患原因の解明等の基礎研究から出口を見据えた研究開発まで、健康社会の実現を目的とした挑戦的な研究開発を幅広く推進。

# プログラムにおけるグリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションの推進について



内閣府

「新成長戦略(基本方針)」(平成21年12月30日 閣議決定：別紙参照)において掲げられたグリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションの推進を目的として、新たな科学・技術を創造する基礎研究から出口を見据えた研究開発まで、人文・社会科学的側面からの取組を含め、政策的・社会的な課題の解決に貢献する挑戦的な以下のアプローチを支援する。

- 新たな科学的・技術的知見の「発掘」
- 多様な分野の科学的・技術的知見の「統合」によるブレークスルー技術の創出
- 革新的技術の戦略的な推進
- 研究開発成果の実利用・普及のための社会システムの転換 等

## 科学・技術によるグリーン・イノベーションの推進

本プログラムでのグリーン・イノベーションには、地球温暖化を克服し、持続的発展が可能な社会の実現を目指した、幅広い多様な科学・技術革新及び社会革新が含まれる。環境・資源・エネルギー・食料等の分野にこだわることなく、斬新な発想で以下の例示のような課題解決に挑戦することが期待される。

### 【例示】

- ・地球環境の観測・評価・予測の高度化
- ・再生可能エネルギーへの転換
- ・エネルギーの高効率化、エネルギーシステムのスマート化
- ・資源の省力化・代替化・確保
- ・食料生産の革新
- ・情報通信技術の活用による環境先進化
- ・生物多様性・生態系の保全
- ・国際連携による環境・エネルギー革新
- ・社会システムの設計による環境先進化 等

## 科学・技術によるライフ・イノベーションの推進

本プログラムでのライフ・イノベーションでは、生命機能や疾患原因の解明等の基礎研究から出口を見据えた研究開発まで、健康社会の実現を目的とした先端的な研究開発を幅広く推進する。医療・介護等の分野にこだわることなく、斬新な発想で重要な課題解決に挑戦することが期待される。

### 【例示】

- ・生命機能の解明
- ・生命進化の仕組みの解明
- ・疾患原因の解明
- ・革新的な医薬品・医療機器の原理・検証・実証
- ・高齢者・障害者の支援に資する介護技術の革新
- ・早期診断機器・方法の原理・検証・実証
- ・革新的な予防医学研究システムの構築
- ・情報通信技術の活用等による医療システムの変革
- ・革新的生命科学技術の社会受容性の推進 等

# 最先端・次世代研究開発支援プログラムの進め方

